

ふ 地域との交流 れあい交流会

10/30

押方小学校で、地域の方を招いた「ふれあい交流会」を行いました。

地域の方とのふれあいを通して、昔の様子や遊びを教わりながら交流を深め、学び合う心を育てることを目的として、地域の方と折り紙やかたななどの昔の遊びや空気であっぴや、おじゃみづくり、ミニ箱庭づくりなどを楽しみました。

田淵^{ろはな}桜花さんは「おじゃみをつくった。縫うことが難しかったがうまくできた。授業でナップサックをつくるので、参考になった」と話しました。



岩 岩戸をPR 戸っ子スタンプラリー

10/16

岩戸小学校の3年生が、天岩戸神社西本宮で「岩戸っ子スタンプラリー」を行いました。

地域の人口減少を感じた子どもたちが、岩戸の良さを知ってもらおうと、参加者に声を掛け、チェックポイントの本殿、社務所、徴古館、斎館、神楽殿を巡ってもらい、施設の案内やイラストを使った天岩戸神話の説明などをし、手作りのシールをカードに貼り付けました。

佐藤蒼一さんは「岩戸の良さを伝えられた。観光客も楽しめたい自分も楽しむことができた。岩戸の良さをいろいろな人にもっと伝えたい」と話しました。



福 不自由さを学ぶ 社体験学習

10/16

社会福祉協議会の職員を講師に迎え、岩戸小学校4年生が福祉体験学習を行いました。

目隠しやヘッドホンをし、手足におもりやサポーターを着けるなどして歩いたり、車いすの使い方を教わるなど、高齢者などが、普段どのような不自由をしているのか体験しました。

馬原侑^{ゆき}さんは「歩くときや車いすの操作が難しく、これが毎日となるとすごいと思った」。佐藤花さんは「大変だった。アイマスクは真っ暗になり怖かった」と感想を述べました。



文 上野小中学校 文化発表会

10/5

上野小学校と中学校が、合同で文化発表会を行いました。

学年ごとによる上野白太鼓や棒術、神楽、エイサーなどの伝統芸能やダンスを披露。そのほか、児童生徒や地域の方々が手掛けた作品展示、読み聞かせグループ「おはなしの森」によるペーパーパペットシアター、上野在住「ララルー」の歌が披露されました。

本年度をもって中学校が閉校となるため、合同での開催は最後。中学生全員による演劇や合唱では、自然やふるさとを思う気持ちを込めた発表となりました。



米 収穫の喜びを味わう 刈り体験

10月

黄金色に色づいた稲穂が収穫期を迎え、町内各小学校で米刈りを行いました。

6月に田植えを行って約4カ月。ようやく実ったお

米の刈り取りができるようになり、地域の方や保護者、JA青年部の協力のもと、鎌の使い方を教わった子どもたちは、一斉に手刈りを始めました。小学校によってはコンバインやバインダーの機械を使い作業。束ねて稲架掛けるなどをしました。

慣れない作業に苦労しながらも、時間がたつにつれて手際よく作業を進めました。田植えから稲刈りを通して、米を作る苦労や収穫の喜びを体験することができました。



EM 環境にやさしい 菌活性液づくり

10/16

町商工会女性部(児嶋佐代子部長)を講師に迎え、岩戸小学校5年生がEM液づくりを行いました。

環境問題について知ってもらおうと10年以上前から毎年行っているもので、米ぬかを水で溶いたものに糖蜜とEM菌を入れ2週間ほどで完成。31日に完成したEM液をプールに投入しました。菌の効果によりプール掃除が楽になり、河川や土壌が浄化されます。

児嶋^{ゆたか}佑尚さんは「簡単につくることができた。みんなが使うところがきれいになってほしい」。工藤愛^{あみ}実さんは「糖蜜のにおいが独特だった。父や弟が魚釣りが好きなので、川や海がきれいになって、おいしい魚を食べたい」と話しました。



エ 豊見城市ジュニアリーダー イサー交流

10/12

上野小学校の5・6年生と沖縄県豊見城市のジュニアリーダーによるエイサー交流が行われました。

ジュニアリーダーは、大太鼓やパーランクルのたたき方、腕角度や足の運び方、掛け声など、より細かな部分まで指導。子どもたちは、楽しみながらも真剣なまなざしで練習を繰り返しました。

平川結^{ゆき}絆さんは「指導のおかげでうまくなった」。城田朋^{とも}和さんは「キレが出るようになった。曖昧なところがうまくできるようになった」と話し、2人は「これからも伝統文化を受け継いでいき、後輩に伝えていきたい」と述べました。練習後は、バーベキューをするなどして交流を深めました。

